

製品名: SRA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80546**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	SRA
別名	SRAP; STRAA1
遺伝子 ID	10011.0
SwissProt ID	Q9HD15
免疫原	大腸菌で発現した SRA の精製された組み換え断片。

背景

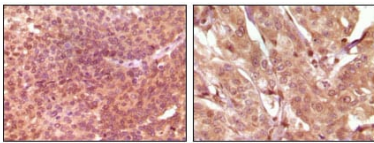
ステロイド受容体 RNA 活性化因子 1 (SRA) は、237 アミノ酸 (約 27kDa) からなるタンパク質で、機能性非コード RNA ファミリーに属し、その数は増加傾向にあります。SRA は、ステロイド受容体の活性を特異的に共活性化できる最初の機能性非コード RNA

として初めて記載されました。具体的には、SRA は、ステロイド受容体共活性化因子 1 と複合体を形成する RNA 転写産物として、また安定発現するタンパク質として存在します。SRA の発現は、多くのヒト乳がん、子宮がん、卵巣がんにおいて強く亢進しており、病態形成における潜在的な役割を示唆しています。SRA によるステロイド依存性転写の共活性化は増殖反応を伴いますが、過剰発現だけでは腫瘍形成を誘導するのに十分ではありません。

研究分野

アポトーシス

画像データ



パラフィン包埋ヒト膀胱癌（左）および乳癌（右）の免疫組織化学分析。DAB 染色による SRA マウス mAb を使用して核および細胞質の局在を示しています。